

第106回 新潟内分泌代謝同好会

謹啓

時下、先生方におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
さて、下記の要領にて学術講演会を開催させて頂くことになりました。
ご多忙中とは存じますが、是非ご出席賜りますようお願い申し上げます。

謹白

記

1. 日 時 平成29年 12月 2日(土) 14時45分より
2. 場 所 ラマダホテル新潟 明石の間 新潟市中央区弁天1丁目2番4号 TEL:025-244-5858
3. プログラム

【情報提供】14:45-14:55

持続型 GLP-1 受容体作動薬『トルリシティ』について 大日本住友製薬株式会社

【一般演題 1】14:55-15:35 割り当て時間は1題12分(講演7分、討論5分)です。

[座長] 松林泰弘先生(新潟大学医歯学総合病院 血液・内分泌・代謝内科)

①『原発巣の同定に至らなかった癌の一例』

新潟大学医歯学総合病院 血液・内分泌・代謝内科

○橋本浩平、三ツ間友里恵、山本正彦、金子正儀、松林泰弘、山田貴穂、岩永みどり、
松永佐澄志、藤原和哉、曾根博仁

②『代償性呼吸性アルカローシスが遷延した糖尿病性ケトアシドーシスの一例』

信楽園病院 糖尿病・内分泌内科

○上村宗、高澤哲也

③『最近、当院で経験した免疫チェックポイント阻害薬による劇症1型糖尿病』

新潟県立がんセンター新潟病院 内科

○谷長行

【一般演題 2】15:35-16:30 割り当て時間は1題12分(講演7分、討論5分)です。

[座長] 鈴木裕美先生(新潟県立新発田病院 代謝内分泌内科)

④『外性器完全女性型であった45,X/47,XXYターナー症候群の1例』

新潟南病院 小児科¹⁾、新潟大学医歯学総合病院 小児科²⁾

○丸山馨¹⁾、柴田奈央²⁾、入月浩美²⁾、佐々木直²⁾、小川洋平²⁾、長崎啓祐²⁾

⑤『チアマゾール内服開始2年以上を経過し、維持量にて治療中に発症した無顆粒球症の小児例』

新潟市民病院 小児科

○阿部裕樹 泉田侑恵 塚野真也

⑥『摘出に難渋したGH・TSH産生下垂体腺腫の一例』

新潟大学脳研究所 脳神経外科学分野¹⁾、新潟大学地域医療教育センター/魚沼基幹病院脳神経外科²⁾

○岡田正康¹⁾、米岡有一郎¹⁾²⁾、村井志乃¹⁾、斎藤祥二¹⁾、渡邊潤¹⁾、大石誠¹⁾、藤井幸彦¹⁾

⑦『下垂体腺腫術後の下垂体機能回復』

新潟大学医歯学総合病院 魚沼地域医療教育センター・魚沼基幹病院 脳神経外科

○米岡有一郎

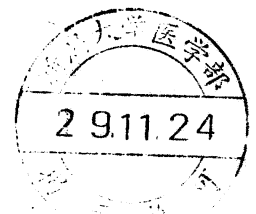
《 コーヒーブレイク 16:30-16:45 》

【特別講演】16:45-17:45

[座長] 信楽園病院 糖尿病・内分泌内科 部長 上村 宗 先生

『中枢神経系における脂質関連バイオマーカーとその臨床意義』

順天堂大学医学部 臨床検査医学講座 准教授 平山 哲 先生



*当日年会費の¥1,000徴収させていただきます。(学生及び研修医の先生方は会費無料)

*本会終了後、情報交換会を予定しております。

*当会は日本内分泌学会より参加証明書(認定単位2単位)を発行いたします。

第106回当番幹事:信楽園病院 糖尿病・内分泌内科 上村 宗
共催 新潟内分泌代謝同好会 大日本住友製薬株式会社